

エコアクション 21  
2024 年度 環境経営レポート  
(対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月)



関西熱化学株式会社  
研究開発センター

作成日：2025 年 4 月 8 日  
更新日：2025 年 4 月 21 日

## 【目次】

|     |                                        |
|-----|----------------------------------------|
| P1  | ごあいさつ                                  |
| P1  | 1. 組織の概要                               |
| P2  | 2. 認証・登録の対象範囲                          |
| P3  | 3. 環境経営方針                              |
| P4  | 4. 環境経営目標と実績                           |
| P5  | 5. 環境経営計画の取組結果とその総括、次年度の取組内容           |
| P8  | 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果、ならびに違反・訴訟等の有無 |
| P9  | 7. 代表者による全体評価と見直しの結果                   |
| P9  | 8. 主な環境活動への取組紹介                        |
| P11 | 補足資料：2024 年度の主な活動実績ならびに 2025 年度の活動目標   |



## 【ごあいさつ】

関西熱化学では、『環境・安全・品質』を重要課題として自主的に確保するRC（レスポンシブル・ケア）活動を展開しています。そのための仕組みとして加古川工場では1998年にISO14001を取得し、本社ならびに研究開発センターでもエコアクション21(以下EA21)を取得し、活動しています。

今回、研究開発センター地区の2024年度のEA21活動結果を環境経営レポートとして取りまとめました。

なお、関西熱化学グループのRC活動の取り組みをRCLレポートとして下記ホームページに公表していますので、合わせてご覧ください。（<https://www.tkcc.co.jp/sustainability/rc/#reports>）

### 1. 組織の概要

#### （1）名称及び代表者名

関西熱化学株式会社 取締役 研究開発センター所長 天能 浩次郎

#### （2）所在地

兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地

#### （3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 企画管理Grリーダー 高山 信輝

担当者 企画管理Gr 大澤 剛

連絡先 TEL：06-6416-5951

#### （4）事業内容

グループ事業の維持・拡大に係る研究開発業務

#### （5）事業の規模

関西熱化学株式会社年商 1315億円（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### （6）事業所の規模

延床面積 : 2,210平方メートル

従業員数（対象範囲） : 33名

#### （7）事業年度 4月～3月

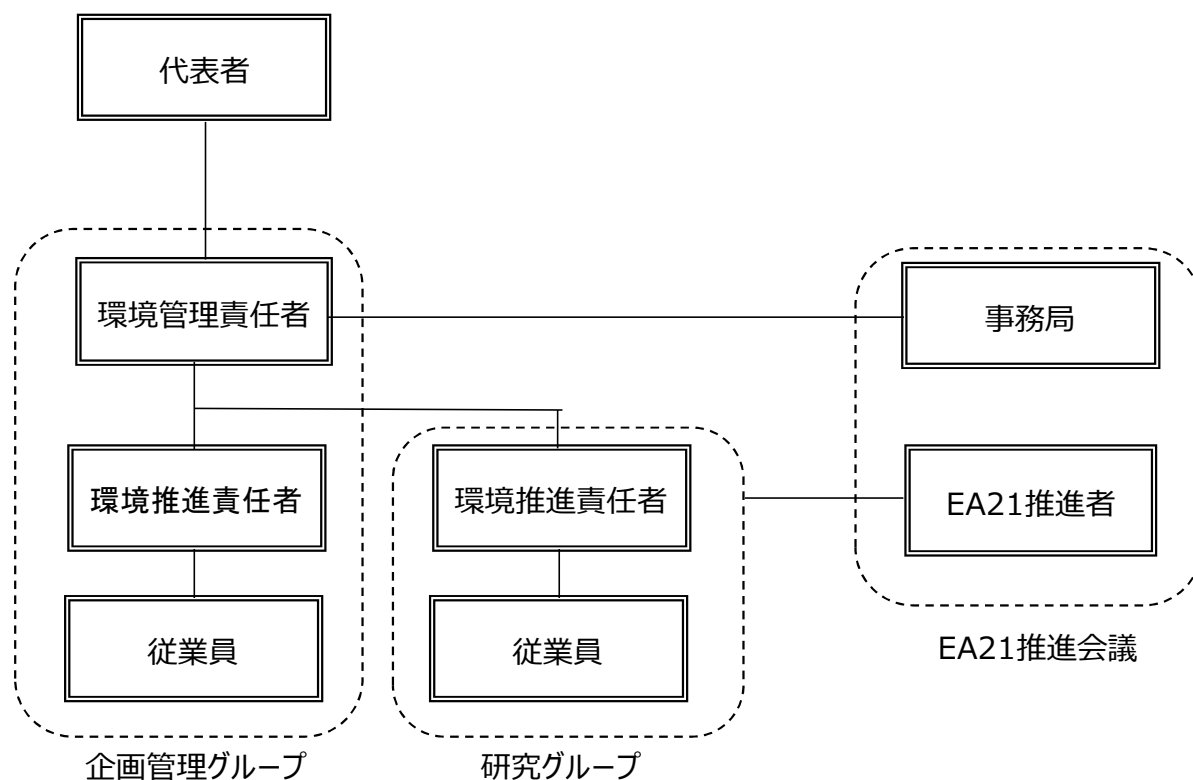
## 2. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 関西熱化学株式会社 研究開発センター

対象事業所 : 関西熱化学株式会社 研究開発センター

活動 : グループ事業の維持・拡大に係る研究開発業務

活動実施体制 : 図の通り



対象外 : 加古川工場 ISO14001認証取得済

本社 EA21認証取得済

尼崎事業所 認証取得予定なし



関西熱化学株式会社は製鉄用コークスを製造する会社で、神戸製鋼グループの一員です。

関西熱化学株式会社は 株式会社 MC エバテック、尼崎ユーティリティサービス株式会社とで、関西熱化学グループとして様々な事業を展開しています。

### 3. 環境経営方針

#### 基本理念

私たちは尼崎市大浜町において、関西熱化学グループの研究開発センターとして事業活動を行っています。この事業活動が環境に影響を与えていることを認識し、経営上取り組むべき優先課題と位置づけて環境経営マネジメントシステムを運用し、継続して環境負荷の低減と汚染の防止に努めます。

#### 行動指針

環境経営マネジメントシステムの具体的な活動項目を以下のように定め、実行します。

- 1) 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2) 管理項目及び目標を定め、定期的な見直し、継続的改善に取り組めます。
- 3) 環境影響を軽減するため、次の活動を推進します。
  - ① 地球温暖化防止のための省エネルギーの推進
  - ② 循環型社会への対応のための省資源・水使用量削減・リサイクル推進
  - ③ 環境に配慮した商品や資材の購入
  - ④ 環境改善に資する研究開発と改善活動の実施
  - ⑤ 地域の一員としての構外美化活動の推進
- 4) この環境経営方針を研究開発センターの全従業員に周知します。
- 5) この環境経営方針および環境経営レポートを一般に公開します。

制定日：2010年4月2日

改定日：2023年4月1日

関西熱化学株式会社

取締役 研究開発センター所長

天能 浩次郎

#### 4. 環境経営目標と実績

##### 主な環境負荷の目標と実績

| 項目     |                                         | 年度     | 2022    | 2023    | 2024    |                | 2025    | 2026    |
|--------|-----------------------------------------|--------|---------|---------|---------|----------------|---------|---------|
|        |                                         | 単位     | 実績      | 実績      | 目標      | 実績 (達成率)       | 目標      | 目標      |
| 目標管理項目 | CO <sub>2</sub> 排出量, kg-CO <sub>2</sub> |        | 218,514 | 210,861 | 210,480 | 217,996 ( 96 ) | 215,809 | 214,907 |
|        | 電力                                      |        | 155,696 | 148,541 | 150,060 | 152,051 ( 99 ) | 152,114 | 150,921 |
|        | 都市ガス                                    |        | 62,817  | 62,320  | 60,420  | 65,945 ( 91 )  | 63,694  | 63,986  |
|        | 全使用量, ×10 <sup>3</sup> MJ               |        | 5,338   | 5,261   | 5,142   | 5,297 ( 97 )   | 5,257   | 5,231   |
|        | 電力, MWh                                 |        | 425     | 406     | 410     | 415 ( 99 )     | 416     | 412     |
|        | ガス, m <sup>3</sup>                      |        | 29,082  | 28,852  | 27,972  | 30,530 ( 91 )  | 29,488  | 29,623  |
|        | 上水, m <sup>3</sup>                      |        | 3,538   | 3,007   | 3,160   | 2,670 ( 116 )  | 3,072   | 2,916   |
|        | 産業廃棄物(特管含)                              | 排出量, t | 5.2     | 2.8     | 3.8     | 2.3 ( 141 )    | 3.4     | 2.8     |
|        | OA用紙                                    | 購入, 百枚 | 605     | 540     | 535     | 425 ( 121 )    | 421     | 417     |
| 実績把握項目 | 紙資源リサイクル                                | t      | 0.91    | 1.40    |         | 0.95           |         |         |
|        | 試薬瓶リサイクル                                | kg     | 30.0    | 29.0    |         | 22.0           |         |         |
|        | ペットボトルキャップ回収                            | 個      | 2,575   | 3,009   |         | 3,783          |         |         |
|        | 使用済み切手回収                                | 枚      | 112     | 134     |         | 207            |         |         |

- ・2025 年度電気・ガス・上水使用量の目標値は、予算と市場の動向を鑑みて設定している。
- ・2026 年度電気・ガス・上水使用量の目標値は、過去 2 年分の実績と 2025 年度の目標値の平均で設定している。
- ・2025 年度の産業廃棄物目標値は、過去 3 年の実績の平均値で設定している。
- ・2026 年度の産業廃棄物目標値は、過去 2 年分の実績と 2025 年度の目標値の平均で設定している。
- ・2025 年度の OA 用紙購入量目標値は、前年度実績から 1%減で設定している。
- ・2026 年度の OA 用紙購入量目標値は、2025 年度目標値から 1%減で設定している。
- ・2022 年以降の算出では 2018 年 11 月 14 日エコアクション 2.1 環境への負荷の自己チェック表・取組の自己チェック表（2017 年版-Ver.1.1）を用いた。
- ・電力の CO<sub>2</sub> 排出係数(供給元 AUS(株)の排出係数)： 0.366kg-CO<sub>2</sub>/kWh としている。

## 5. 環境経営計画の取組結果とその総括、次年度の取組内容

| 管理項目及び SDGs との関わり                                                                                                     | 結果<br>◎：大変よくできている<br>○：できている<br>△：改良の余地がある | 総括                                                                                                                                                  | 2025 年度取組内容                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 1.計画の定期的な見直しと継続的改善                                                                                                    | ○                                          | 組織内外の環境が変化してきているので、月次で変化を捉え、見直しすることで継続的に改善活動ができた。                                                                                                   | 定着するよう活動を継続する。                     |
| 2.電力の削減<br>数値目標<br><br>行動目標<br>     | ○<br><br>○                                 | 目標より 1 % 増であった。<br>節電励行：①廊下の点灯「1/2」、②廊下の昼休み消灯、③無人部屋の消灯、④ドラフトチャンバー未使用時の装置扉閉推進の各場所個別活動が定着してきた。<br>⑤夏場のカーテンによる遮光や⑥空調温度管理、⑦温水器温度管理、⑧電力使用量の可視化は確実に実施できた。 | 定着した活動を継続し、効率的な使用を目指す。8 つの活動を継続する。 |
| 3.産業廃棄物の削減<br>数値目標<br><br>行動目標<br> | ○<br><br>○                                 | 目標より 41 % 減であった。<br><br>試薬等の適正利用等で発生抑制した。<br>4 月に改めて活動実施アナウンスを行い、年間を通して試薬瓶リサイクル量は、昨年より減少したが、アナウンス活動は継続していく。                                         | 定着した活動を継続する。                       |
| 4.リサイクル分別徹底<br>                    | ○                                          | 活動の継続で紙リサイクルの認知が深まり、新聞紙、段ボール、雑誌、カタログ、混合紙の種分けしてほぼ全量をリサイクルできた。<br>また、様々な種類の紙があり、間違いやすい種類については、リストを作成し、情報を共有して分別の負荷を下げてきた。                             | 定着した活動を継続する。                       |

| 管理項目及び SDGs との関わり                                                                                                         | 結果<br>◎：大変よくできている<br>○：できている<br>△：改良の余地がある | 総括                                                                                                                    | 2025 年度取組内容                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 5.上水削減<br>数値目標<br><br>行動目標<br><br>       | ○<br><br>○                                 | 目標より 16%減であった。<br><br>活動の継続でトイレの節水の認知が深まり、確実に節水が進んだ。<br>使用量月次検討によって、研究開発の活発化に伴う使用量の増加要因も分かるようになってきた。                  | 定着した活動を継続し、推進会議で使用量の合理性を確認し、異常は早期にキャッチする。 |
| 6.OA 用紙の削減<br>数値目標<br><br>行動目標<br><br> | ○<br><br>○                                 | 目標より 21%減であった。<br><br>活動の継続で裏紙活用の認知が深まりほぼ全量をリユースしている。再利用できる紙とできない紙の分別、印刷機での紙詰まり解消の対応と調整など利用に対する工夫を行い、情報は共有し利用促進に繋がった。 | 定着した活動を継続する。                              |
| 7.まちの美化推進<br>ボランティア清掃の呼びかけ<br><br>     | ○                                          | 尼崎事業所全体で 1 回/月の頻度で行う昼休み構外清掃参加の呼びかけをおこなった。当日の呼びかけにより、掲示だけでは伝わらない方への参加促進に繋がった。                                          | 定着した活動を継続する。                              |
| 8.ガス削減<br>数値目標<br>行動目標<br><br>         | ○<br><br>○                                 | 猛暑の影響によりエアコンがフル稼働となったため、目標より 9%増となった。<br><br>ガスヒートポンプエアコンの集中管理による運転管理で節ガス運転を継続している。また、部屋ごとの温度設定の徹底を確実に実施している。         | 研究開発の活発化に伴うガス使用増を抑制することはできないが、効率的な使用を目指す。 |



| 管理項目及び SDGs との関わり                                                                                                       | 結果<br>◎：大変よくできている<br>○：できている<br>△：改良の余地がある | 総括                                                                                                               | 2025 年度取組内容                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 9.フロン排出抑制<br>簡易点検<br>適正廃棄<br>          | ○                                          | 台帳を作成し、機器の登録・廃棄の管理をおこなうとともに、3 か月毎の簡易点検を確実に実施している。廃棄については証明書の管理により、適正廃棄をしていることを確認している。                            | 法令に即した対応を継続する。                                                              |
| 11.関連法令の対応<br>化学物質在庫管理<br>排水水質管理<br> | ○                                          | 環境関連法に従い廃棄物の適正廃棄を行っている。<br>危険物、毒劇物など化学物質に見合った管理を実施している。<br><br>中和設備を正常に運転し、定期的に決められた水質管理監視を行い、事業所の適正な排水管理に繋げている。 | 法令に即した対応を継続する。<br>化学物質管理は安衛法や消防法、毒劇法、と密接に関係することから、スコープする法令として追加し、運用を継続している。 |
| 12.関係法令の確認<br>                       | ○                                          | 廃掃法、家電法・家電リサイクル法に基づいた事業者の対応を再確認する勉強会を実施し、点検などの対応について理解を深めた。                                                      | 定着した活動を継続する。                                                                |
| 13. カーボンニュートラルに向けた研究開発活動の実行<br>      | ○                                          | 研究開発の実績として将来のカーボンニュートラルを目指した製品開発として、2024 度は、蓄電デバイス向け電極材・浄水用吸着材・ガス分離材などに関する研究開発を実施した。                             | 活動を継続する。                                                                    |

| 管理項目及び SDGs との関わり                                                                                                         | 結果<br>◎：大変よくできている<br>○：できている<br>△：改良の余地がある | 総括                                                               | 2025 年度取組内容 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1 4. 事業活動における無災害の継続 無災害達成 RC 活動計画の実行<br> | ◎                                          | RC 活動においては、2024 年度の年間無災害達成した。事業活動における無災害を 2007 年度から 18 年間継続している。 | 活動を継続する。    |

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果、ならびに違反・訴訟等の有無

主な環境関連法規制とその対応状況

| 法規制                      | 実績                                                         | 遵守<br>評価 |
|--------------------------|------------------------------------------------------------|----------|
| 廃棄物処理法                   | 廃棄物の適正廃棄<br>適正業者の使用実施、許可証の有効期限確認実施、契約書の交付実施、マニフェストの発行と管理実施 | ○        |
| 資源有効利用・リサイクル関連法          | 3 R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進実施<br>適正廃棄                         | ○        |
| フロン排出抑制法                 | 簡易点検実施                                                     | ○        |
| 省エネ法                     | 省エネ推進実施                                                    | ○        |
| 地球温暖化対策推進法               | 負荷自己チェック実施<br>温室効果ガス削減実施                                   | ○        |
| グリーン購入法                  | グリーンラベル物品の選択的購入実施                                          | ○        |
| 毒物及び劇物取締法                | 数量管理実施、盗難防止対策実施、毒劇物表示実施、在庫管理実施                             | ○        |
| 関西熱化学尼崎事業所<br>環境保全に関する覚書 | 排水水質監視、自主管理値の管理実施                                          | ○        |

- ・行政等からの違反等の指摘は過去 3 年間ありませんでした。
- ・環境関連法規制等の遵守状況を定期評価した結果、環境法規制等の逸脱、訴訟等はありませんでした。
- ・環境に関する苦情の発生はありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果（2024年4月18日実施）

### [活動全体の評価]

定例の活動項目の推進と併せて、年間無災害を含む部署の RC 活動目標を達成していただいた。気候変動の影響によりガス使用量は増加したが、上水使用量・OA 用紙購入量が削減されたことは、活動の効果が表れた結果である。

昨年度中の株主変更によりコベルコグループでの事業活動となっていることから、グループ方針との整合性やグループでの取り組みも加えながら、引き続き本活動を継続していただきたい。

### [環境経営方針]

変更なし。

### [目標・環境活動計画]

コベルコグループで取り組むエコライフノートへの参加は改めて項目に挙げて推奨していくことを検討いただきたい。また、本年度の RC 活動重点事項に挙げている法令順守の仕組み整備に関する項目もうまく取り入れながら活動項目を改善していただきたい。

### [実施体制の変化]

変更無なし。

## 8. 主な環境活動への取組紹介

（１）３か月毎の頻度で、各部署からの活動推進担当で構成される EA21 推進会議を開催し、電気・ガス等の使用量の実績等を共有し、目標達成に向けた実施状況の確認を行っています。その中で目標の達成・未達成に関わらず原因を明確にし、目標未達となった場合には改善に向けた施策を検討しています。

（２）実験室・会議室使用後の消灯、廊下や昼休みの節電を実行し、従業員による節電と節電への関心を高める活動を行なっています。

（３）夏期、冬期の於ける空調使用エネルギー削減のため、温度を各部屋で設定することにより、空調使用時のエネルギー削減を行っています。

（４）空調の管理温度の設定状況ならびに実験室・会議室使用後の消灯について、パトロールの中で季節項目として、状況を確認しました。

（５）改善提案制度や小集団活動制度による、作業安全の確保や作業の効率化を積極的におこなうことで、業務品質の向上や作業環境の整備に寄与しています。



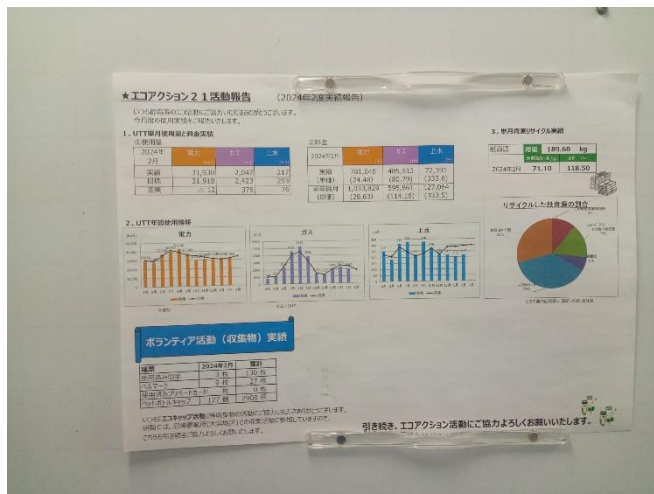
小集団活動：各グループで課題を抽出して解決する活動を展開しています。年1回の報告会を開催しています。

(6) 複合機でのミスプリント防止機能（私書箱機能）の活用によるOA用紙の削減、裏紙のリユース、紙類回収リサイクルボックスの活用を行ない、資源有効利用を促進する活動を展開しています。

(7) 使用済みインクカートリッジ、テプラカートリッジはリサイクルBOXを設置し、分別回収しやすいように表示し、リサイクルを促進しています。

(8) グリーン購入については使用目的と品質を確認し、積極的に選択するようにしています。

(9) エネルギー使用状況や廃棄物削減と資源有効利用促進の結果など環境活動結果は掲示板に掲示し、啓発に繋げ、従業員の意識向上を図っています。

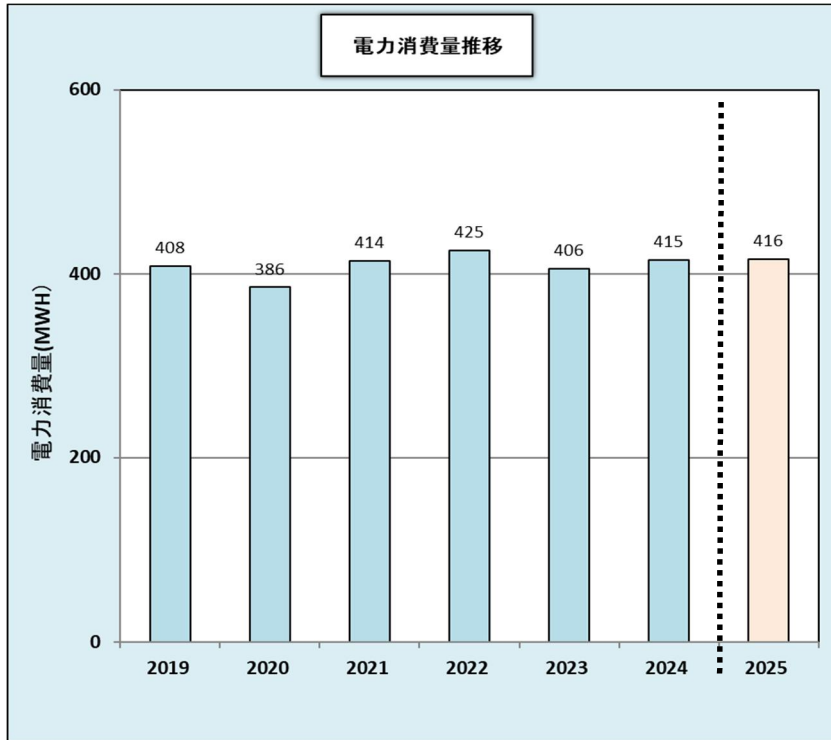


(10) 1回/月の事業所ボランティア清掃や打ち水大作戦 in あまがさき、エコキャップ回収活動など近隣環境や社会福祉に関連した活動に積極的に参加しています。

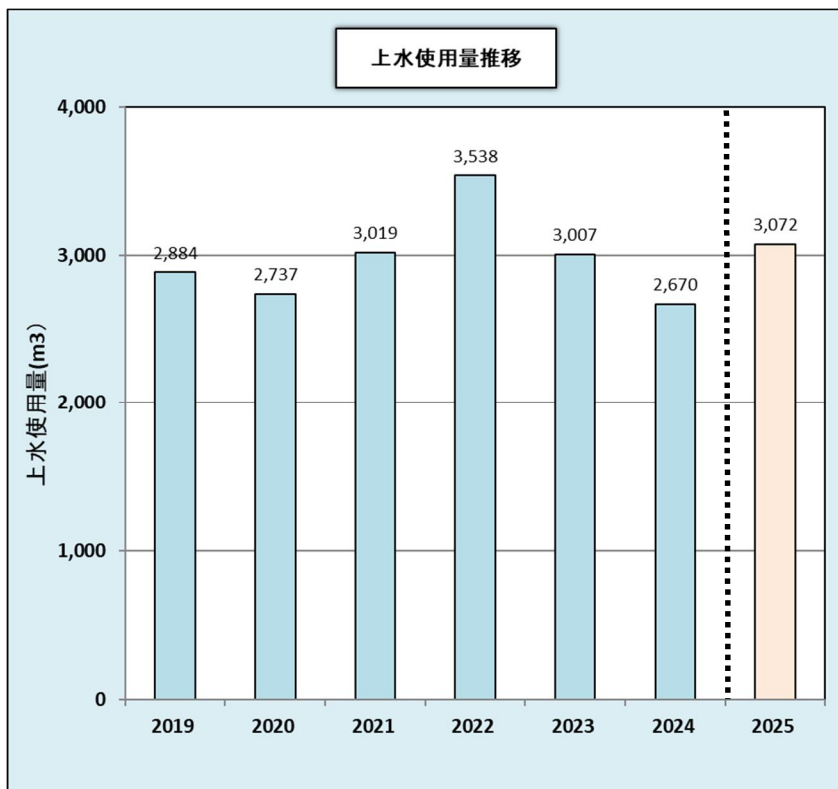


## 【補足資料：資源削減の推移とリサイクル量の推移】

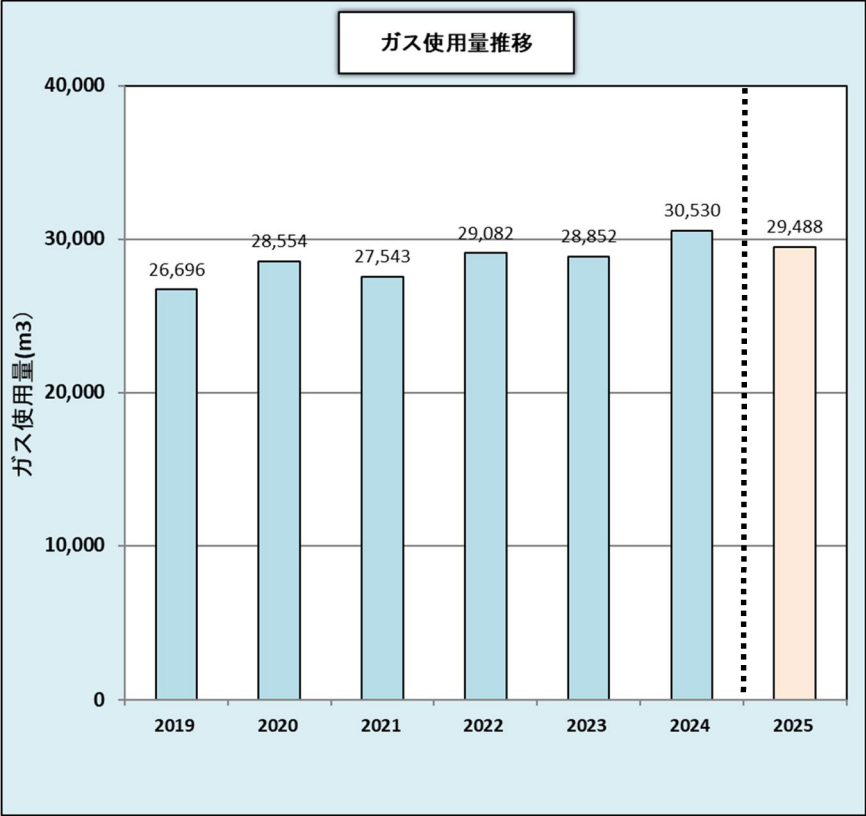
### 電力使用量削減



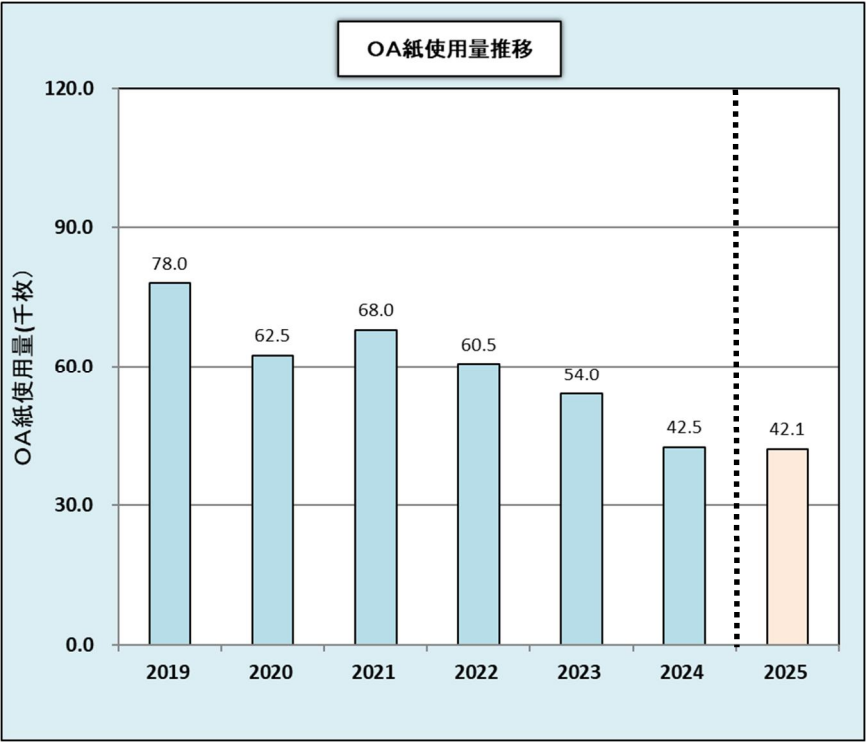
### 上水使用量削減



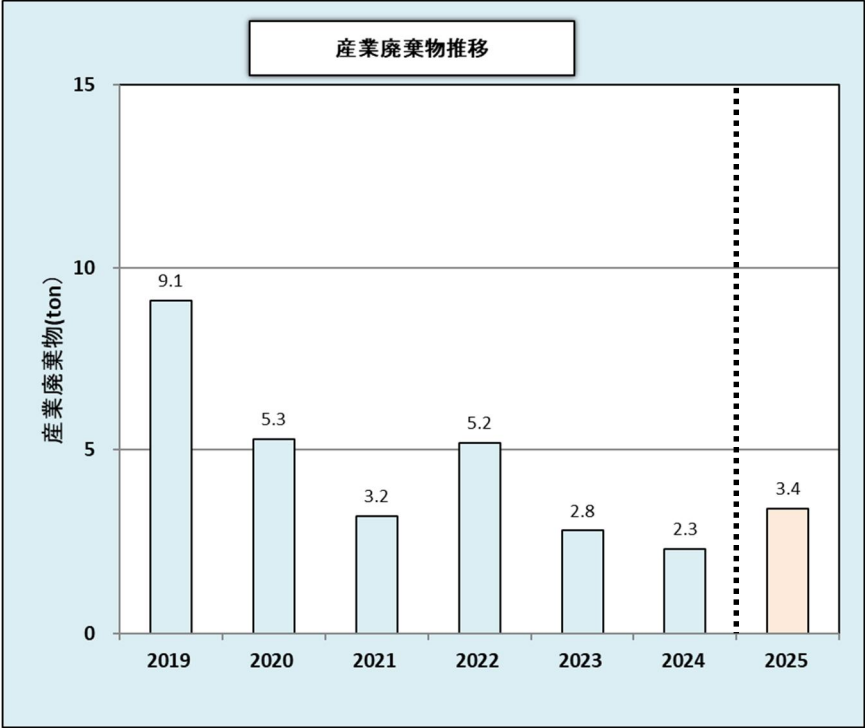
ガス使用量削減



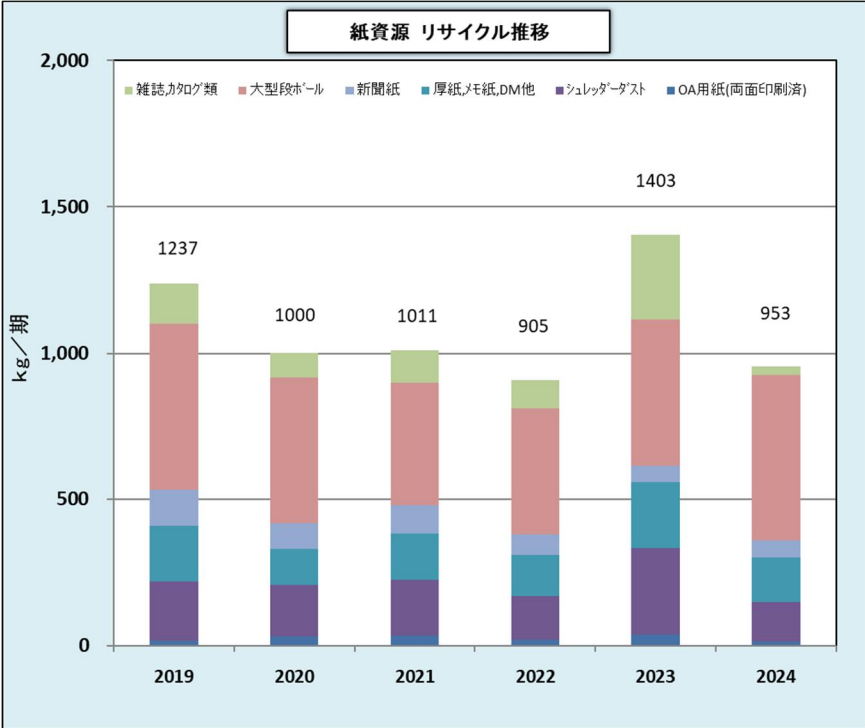
OA用紙使用量削減



産業廃棄物排出量削減



紙資源リサイクル



以上